

校訓 自主・慈愛・責任



校章 デザイン 栗野 羣先生 昭和25年制定



古代の八稜鏡を外形として、
白地は純真・潔白を表わし、中央
の円は太陽をかたどる。

桜花弁の三点は下妻の下の字を
表わしている。

校歌

折口 信夫 作詞 平井 康三郎 作曲

1

明けきたる あけきたる
下妻の若きわれらに 朝は来ぬ
筑波の空の 濃紫
たちまちかわる 野の緑
古き文化の静けさに
まづ入り立ちて はたらかむ
ああ脈ばしる胸はりて
われらがあぐる 若き声
われらはあげむ 清き歌

2

昼深し ひるふかし
下妻の清き野山に 日はそそぐ
窓あけ放て かがやかに
目路にひろがる 水の面
澄める湛えは わが知識
鬼怒・大宝・小貝川
清らに冴えて美しく
われらはあらむ とこしえに
われらはあらむ 常若に

3

夜となりぬ 夜となりぬ
下妻に心ゆたけき 夜は到る
思ひはろけく 才すぐれ
うるわしかりし 昔人
七たび八たび 思ひ見て
端の高機織れるごと
しづかに燃ゆる窓の燈に
われらはもらむ 永遠にして
われらは活くる 清き智慧

制服

〈男子〉

- 上下 黒色の詰め襟 標準学生制服
夏季は上衣に白のワイシャツ（長袖又は半袖）

〈女子〉

- 上衣 セーラー型、白線3本入り（胸当なし）、
冬季…黒色／夏季…白色（半袖又は長袖）、袖口に
カフス
- 下衣 黒色 車ひだスカート、丈は膝が隠れる長さ



写真左より 男子冬服／女子冬服／女子夏服（半袖）／女子夏服（長袖）／男子夏服（長袖）